

授業科目	航空ビジネス研究					実務家教員担当科目	○
単位	2	履修	選択	開講年次	3	開講時期	前期
担当教員	高野 基子						
授業概要	<p>実務家教員として、航空会社の客室乗務員、教育訓練、マネジメントの経験を活かし、実業務を通した航空業界の知識を共有します。</p> <p>航空業界は、イベントリスクの影響を受けやすく、市場環境も目まぐるしく変化しています。一方で、コロナ以降、旅客需要は大きく伸びており、今後も航空機事業、非航空機事業の分野においても発展が予想されます。この授業では、航空の歴史や規制緩和、アライアンス等業界を取り巻く環境について学び、エアライン業界の今後の課題、社会に果たす役割について考え、自身のキャリアを考える足掛かりとします。また、授業の中でのグループワークを通して、今後社会で活躍する上でも必要なコミュニケーション力も磨いていきます。</p>						
授業形態	対面授業	授業方法	グループワーク・ディスカッション				

## 学生が達成すべき行動目標

標準的レベル	1. エアラインビジネスの業務を通して、その全体像を説明できる。 2. エアラインビジネスの現状と課題について説明できる。 3. 環境問題ならびに技術の進歩など、将来のエアラインビジネスに影響を与える要因について説明できる。
理想的レベル	1. エアラインビジネスの業務を通して、その全体像を説明できる。 2. エアラインビジネスの現状と課題について説明できる。 3. 環境問題ならびに技術の進歩など、将来のエアラインビジネスに影響を与える要因について説明できる。 4. エアラインビジネスに関して自らの見解を提示できる。

## 評価方法・評価割合

評価方法	評価割合（数値）	備考
試験	0	
小テスト	60%	知識確認テスト 2回×30 60%
レポート	30%	授業後レポート 15回×2 30%
発表（口頭、プレゼンテーション）	0	
レポート外の提出物	0	
その他	10%	授業への参画度、受講姿勢 10%

## カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング

DP1	○	DP2	○	DP3	○	DP4	○	DP5	○	ナンバリング	EN31404J
-----	---	-----	---	-----	---	-----	---	-----	---	--------	----------

## 学習課題（予習・復習）

1回の目安時間（時間）

復習：授業後レポートの提出 予習：次回授業テーマの確認と航空業界の最新トピックスを毎回調べる。	4
----------------------------------------------------	---

## 授業計画

第1回	オリエンテーション ・授業の進め方、情報取集方法の説明
-----	--------------------------------

第 2 回	世界と日本の航空事情 ・航空業界の分析、日本および世界各地の現状と課題
第 3 回	航空産業の歴史 ・第 2 次世界大戦から現代までの流れ
第 4 回	航空産業の現状と課題 ・新型コロナウィルス以降の現状と社会課題への対応
第 5 回	空港運営 ・日本の空港の現状と課題 ・世界の空港との対比
第 6 回	FSC (フルサービスキャリア) のビジネスモデル ・ネットワーク戦略 ・アライアンス (航空連合)
第 7 回	LCC (ローコストキャリア) のビジネスモデル ・LCC の歴史と現状 ・FSC ビジネスマodelとの比較
第 8 回	マーケティング ・商品・サービス (差別化) ・マイレージ戦略などの特徴
第 9 回	安全とリスクマネージメント ・安全への取り組みと今後の課題
第 10 回	運航管理 ・運航管理者と運航乗務員
第 11 回	フロントラインの仕事：グランドスタッフ、客室乗務員、航空整備士 ・業務概要、訓練のあり方、キャリアパスについて
第 12 回	貨物事業 ・整備業務と委託化 ・貨物業務と物流について
第 13 回	サステナビリティと ESG 経営 ・SDGs 達成に向けた ESG 経営による取り組みについて
第 14 回	エアラインビジネスの今後 ・航空・非航空事業領域における取り組みについて
第 15 回	まとめ ・全体の振り返り
テキスト	グーグルクラスルームを使って教員作成の資料 (パワーポイント) を提供する。
参考図書・教材/データベース・雑誌等の紹介	・エアライン・マネジメント - 戦略と実践 (株) 日本航空株式会社著 インプレス ・エアラインビジネス入門 稲本恵子編著 晃洋書房 ・航空産業入門 (株) ANA総合研究所著 東洋経済新報社
課題に対するフィードバックの方針	成績評価は、知識確認の小テスト 3 回 60%、授業後レポート 15 回 30%、グループワーク後の発表等授業への参画姿勢 10%とする。 ・小テストは、採点後、返却する。 ・授業後レポートは、次の授業内でフィードバックする。

学生へのメッセージ・コメント

航空会社勤務（客室乗務員・訓練教官・組織マネージメント）の経験を活かし、航空業界で働くやりがいや厳しさなど、実業務を交えて授業をおこないます。

COVID - 19 により大きな影響を受けた航空産業では、事業の回復を図るべく急激な変革が起きています。中でもテクノロジーの発達は、事業運営の中でも大きな変化となりました。しかし、テクノロジーの発達と共に更に重要視される「人と人」との関係構築の上で重要なコミュニケーション能力や高いホスピタリティマインドを持った人材は必要不可欠である事に変わりありません。「人」が重要であり、需要のある産業です。この授業を通し、学生の皆さんが高いホスピタリティマインドを發揮し選ばれる航空会社の仕組みやビジネスの内容を理解すると共に今後の可能性を広い視野で考え、航空産業に興味を持つきっかけとして欲しいと考えます。

